

◇環境保全推進賞

アルス株式会社（米沢市）

＝木製サッシの普及で住宅の省エネに貢献する＝

1957年に創業し、家具や建具などの木製品を製造、1993年にはアルス株式会社として法人化し、2001年に木製サッシ事業が中小企業経営革新事業に採択されました。

住宅の省エネには、高断熱化が重要となります。特に熱の出入りは、壁や屋根に比べ、窓やドアといった開口部からの割合が高いことから、この部分の対策を進めることで高い効果が得られます。日本のサッシの素材に多く採用されているアルミは、熱伝導率が高く建物の熱を内外に伝えやすいのに対し、木は熱伝導率が極めて低く断熱性に優れています。素材の特性から、冷暖房のエネルギー効率の向上が見込まれるだけでなく、木は金属に比べて加工も容易なため製造段階でのエネルギーも省エネ化することができます。都市部でも利用可能にするため、防火設備認定を取得したサッシも製造しています。



戸建て住宅の採用例



福祉施設の採用例



工場の様子



防火試験の様子